

令和 5 年度補正
品目団体輸出力強化緊急支援事業活動報告書【アメリカ】
(海外等における販路開拓活動)

1. 事業実施主体

JA 全農インターナショナル株式会社

2. 対象国

アメリカ

3. 実施店舗

Yorba Linda、TorranceCosta、Mesa、Gardena 、 San Diego

4. 実施 概要

日本産青果物の輸出拡大を目的に、店頭での PR 販売を実施し、販売員による丁寧な説明により、日本産青果物の特徴などのアピールを行った。

PR 販売に当たっては、販売店と相談の上、販売棚の装飾を行い消費者の需要喚起をする取り組みを積極的に実施した。

5. 期間

2025 年 1 月～2 月

6. 内容

プロモーターによる試食、商品の PR、販売棚の装飾

7. 販促品目

いちご

【12月】

品目	店舗	期間
いちご	Tokyo Central6 店舗	1/25-1/26, 2/8-2/9

【いちご】

日本産青果物が定番化している日系スーパーにおいて、プロモーションを実施した。静岡県産イチゴが旬を迎え、昨年度より取り組んでいる静岡県産イチゴの販売促進活動を実施した。消費者の目を引く商品陳列及びプロモータによる対面販売を通して消費拡大活動をおこなった。

昨年度から実施している静岡県産イチゴについて、マネキンを立てた試食販売により、食味を体験してもらった。現地の反応としては、味も甘く、香りも良いと評価を得ているが、価格を高く感じている意見もあった。

日本産いちごは、米国産や韓国産と比較して価格が高くなってしまったため、試食販売を通じて食味や香りを体験してもらい、違いを理解してもらうことが必要であると感じた。

